

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	2512
部 名	市民部	課 名	市民生活課	課長名	中野 清
事務事業名	市民健康文化センター維持管理費(都市整備公社委託分)				
予算上の事務事業名	都市整備公社委託分				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興				事業開始年度
施 策 名	第2施策 スポーツ・レクリエーション施設の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
市民健康文化センター条例及び同施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民健康文化センターは、南清掃工場の余熱の有効活用を図るため市民からの要望が多かった温水プールと浴室を主なものとして建設され、市民の健康の保持及び増進並びに文化及び福祉の向上のために、市民の誰もが、運動、文化、レクリエーション活動等の多彩な目的に利用できる複合施設として、また、開かれた市民相互の交流の場として設置されており、その目的を効率的に達成するため、必要と認める範囲内で、センターの管理を財団法人相模原市都市整備公社に委託する。			市民一般		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
管理運営委託(施設・設備管理、清掃・防犯・防災、利用の指導及び監督、利用承認申請等の受付及び利用承認書等の交付、食堂及び売店の運営に関すること等)の契約及び年4回の支払い					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市においても同様の施設を建設し、同様の目的で施設の運営を行っているが、詳細については未調査のため、比較資料無し。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	209,759	209,828	207,612	201,574	200,244
一般財源	208,362	208,498	206,152	200,244	200,244
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	1,397	1,330	1,460	1,330	0
人件費の合計	839	801	807	807	807
事業コスト合計(a)	210,598	210,629	208,419	202,381	201,051
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民健康文化センター維持管理費(都市整備公社委託分)			対象名称(単位)	利用者数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	209,759	209,828	207,612	201,574	200,244
対象数	272,885	278,532	275,291	275,000	275,000
単位あたり経費(円)	769	753	754	733	728
前年度比		0.98	1.00	0.97	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	市民健康文化センター開所日 数	指標式と指 標の説明		平成14年度を基準にした各年度の開所日数の推移	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	335.0	336.0	335.0		
目標	335.0	336.0	335.0	335.0	335.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	市民健康文化センター入場者 数	指標式と指 標の説明		平成14年度を基準にした各年度の入場者数の推移	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	272885.0	278532.0	275291.0		
目標	272885.0	272885.0	272885.0	272885.0	272885.0
目標達成度	100.0	102.1	100.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		公の施設の管理運営については、平成18年度より指定管理者制度への移行が決まっていることから、利用者に対するサービスの向上が期待できる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
指定管理者制度が導入され、センターにおける権限が拡大することにより、よりスムーズな施設管理運営が行われると思われる。また、平成18年4月から駐車場有料化の予定がある。			市民のニーズが多様化しており、どこまでの意見に対応すべきか判断が分かれる。無料部分の受益者負担について見直しを図る。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		指定管理者制度の導入。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			